

○件名 LAJ 品川女子学院 出前授業報告

日時 : 2013年6月10日(月) 16:00-17:30

場所 : 品川女子学院

出席者 : 塚田委員長、西委員、國眼委員、小林氏(前委員長:東芝)、加藤職員
土肥氏(小林理研:JSME 環境工学部門)、
増田氏(神戸製鋼所:JSME 環境工学部門)、
根本氏(東芝:品川女子学院 OG)、秋葉副委員長(記)

参加者 : 5年生(高校2年生)有志 23名

○内容 :

15:00 品川女子学院到着(準備)

16:00-16:10 LAJ 委員会の紹介 …塚田委員長

16:10-17:10 講義

西 : 高校生からずっと変わらないこと

小林 : 自動改札のしくみ - 摩擦を学ぶ -

國眼 : 会社ではたらく理系女子

17:10-17:25 3グループに分かれたディスカッション

17:25-17:30 アンケート終了

○状況詳細 :

・今回の対象生徒は、文理選択を終えた女子生徒(5年生:高校2年生に相当)とし、ロールモデルを示すこととした。

・事前に講師紹介文を提供し、講師とのグループディスカッションのグループ分け時に、生徒が希望する講師を調査してグループ分けを実施いただいた。

・JSME 環境工学部門で検討している出前授業の参考にしたいとのことで、環境工学部門より、2名の聴講者(土肥さん、増田さん)

・1名の品川女子学院 OG に参加いただいた。(根本さん)

・塚田委員長より日本機械学会および LAJ の紹介、機械工学分野の紹介、女性エンジニアの社会的位置付け、社会の期待などについて説明がなされた。

・西委員より、ドイツ留学などを通じた研究者の生活、現職までの歩み、仕事内容等が紹介された。

・小林さん(東芝)より、自動改札機を通した機械工学の紹介、現職までの歩みなどが紹介された。

・國眼委員より、ヒートポンプを利用した家電の紹介、エンジニアの仕事、進路選択など

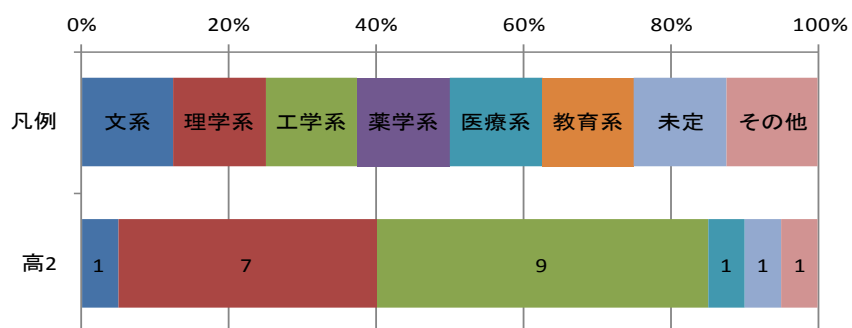
について紹介された。

・講義終了後、3 グループに分かれて、ディスカッションを実施。15 分の時間でもあり、基本的には、質疑応答の場となっていた模様。

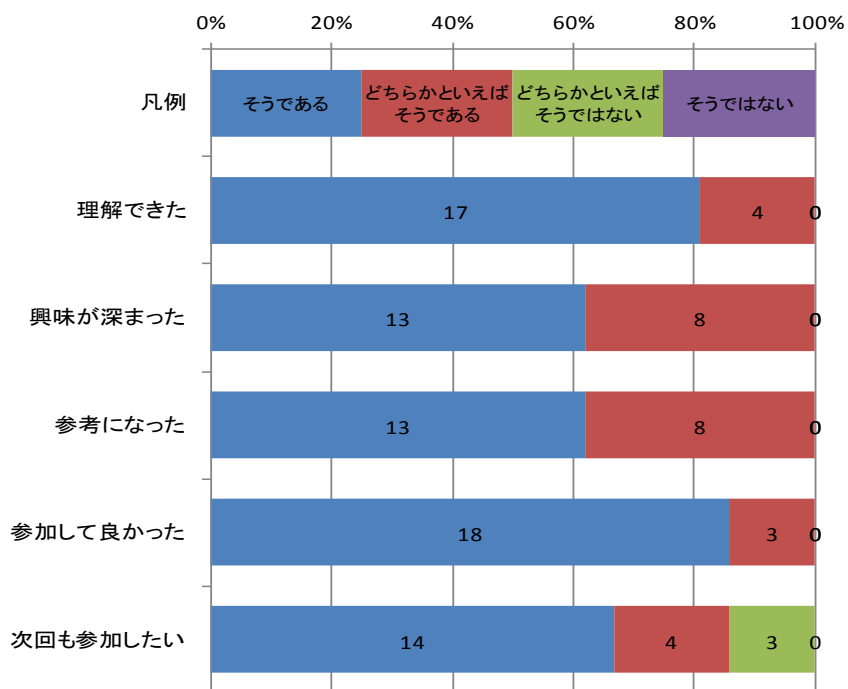
○アンケート結果

- ・理系進路希望者（理学、薬学、医療）で、参加者の 80%程度を占める。
- ・進路分野に関係なく、おおむね講義の理解、関心も高く、高評価となった。

参加者の内訳



授業に関する調査



○講義風景



○まとめ

文理選択後の生徒への授業であったが、生徒の関心度も高く、最後まで興味深く講義を聞いてもらっていた。グループディスカッションの時間が短い感もあったが、質疑の場としては、興味のある講師と話ができる場となっていた。グループによっては、LAJ 委員からの問いかけが必要なケースもあったが、試みとしては良かったのではないかと。